

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	関係団体等との連携による農福連携の充実 (障害福祉事業所農業参入推進モデル事業)			部 (局)	福祉部
				所管課	ユニバーサル推進課
				担当班	障害者就労支援班
				連絡先	078-362-3261
開始年度	令和2年度	終了年度	令和5年度	関連計画等 第2期ひょうご障害者福祉計画	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )			実施主体等	県、兵庫セルプセンター
事業目的	障害者の農業現場での就労を推進するために県内9圏域でモデル事業を実施することで農業に取り組む障害福祉事業所を増やし、障害者が基礎的な農業技術を訓練・習得する場や機会を広げるなど、裾野を拡大していく。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各圏域ごとに支援協議会(構成：行政、農業者、地域団体等)を設置し、障害福祉サービス事業者が協議会の支援や専門家のアドバイスを受けて農作物の生産活動を行うモデル事業を実施</li> <li>農産物の生産活動に取り組んでいる事業所を対象に、工賃等向上に向けて農機具等の導入を支援</li> </ul>				
これまでの改善状況	3年間で9圏域実施予定としていたが、コロナ禍により事業所選定に影響が出た(遅くなった)ため、翌年に専門家派遣を継続し支援し、4年間で9圏域とした。				
業務フロー	県 → 委託先(モデル事業実施) 県 → 補助金交付(農機具等導入事業実施)				

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	9,819 千円	4,368 千円	7,824 千円	7,824 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	1,824 千円	3,468 千円	1,824 千円	1,824 千円
		補助金・交付金	7,995 千円	900 千円	6,000 千円	6,000 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	(財源内訳)	(国庫)	(1,644千円)	(3,288千円)	(1,644千円)	(1,644千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(8,175千円)	(1,080千円)	(6,180千円)	(6,180千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		11,824 千円	9,468 千円	7,824 千円	7,824 千円
	執行率((①/②)×100)		83.0%	46.1%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
			830 千円	823 千円	862 千円	862 千円
		職員給与費 a	719 千円	710 千円	751 千円	750 千円
賞与引当金繰入額 b		58 千円	57 千円	58 千円	57 千円	
退職手当引当金繰入額 c		53 千円	55 千円	53 千円	55 千円	
総コスト(①+③)		10,649 千円	5,191 千円	8,686 千円	8,686 千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評	指標名	区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	最終目標 【年度】
			実績	実績	見込	目標	
価	成果指標(アウトカム指標①) 障害福祉事業所で、新たに農業に従事する障害者の人数	目 標	15	15	15	15	
		実績(見込)	9	34	10	(15)	
	(単位当たりコスト)	(1,183千円)	(153千円)	(869千円)	(579千円)		
	達成率(見込)	60.0%	226.7%	(66.7%)	(100.0%)		
価	成果指標(アウトカム指標②) 新たに農業に取り組む障害福祉事業所の数	目 標	3	3	3	3	
		実績(見込)	2	3	2	(3)	
	(単位当たりコスト)	(5,325千円)	(1,730千円)	(4,343千円)	(2,895千円)		
	達成率(見込)	66.7%	100.0%	(66.7%)	(100.0%)		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目 標					
		実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--		
指	活動指標(アウトプット指標①) モデル事業の実施事業所数	目 標	3	3	3	3	10 【R5年度】
		実績(見込)	1	1	2	(3)	
	(単位当たりコスト)	(10,649千円)	(5,191千円)	(4,343千円)	(2,895千円)		
	達成率(見込)	33.3%	33.3%	(66.7%)	(100.0%)		
指	活動指標(アウトプット指標②)	目 標					
		実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--		
指	活動指標(アウトプット指標③)	目 標					
		実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率(見込)	--	--	--	--		
標	終期設定	有 ( ) ・ (無)					
	改善基準						

自 己 評	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
	己	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	・コロナの影響はあるものの圏域順に一定程度事業実施できており、障害者就労の場を農業活動の場にも拡大できつつある。 ・障害者が農業活動に従事することは、身体面や精神面にプラスとなり、一般就労に向けた訓練になっている。
○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など		・各圏域でモデル事業を実施した後、本格実施は事業所の自主事業となり、効率的な実施体制であると考え。 ・モデル事業の経費は、事業を実施するのに最低限必要となる農機具の整備支援、専門家派遣、地域関係者の支援協議会開催経費であり、適切な費用負担となっている。	

価	課題・今後の方向性	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ( 福祉事業所による農業の継続・拡大を推進するため、技術・販路等の観点から、関係団体等との連携強化策を検討 モデル事業後も、新たに農業へ参入する福祉事業所を確保するため、モデル事業の好事例等の発信を検討 )	

外部 委員 会 意見	・本事業により農業に取り組んでいる障害福祉事業所のランニングコスト等の現状を分析した上で、今後の支援の方向性を検討すべき。 ・県下ですでに農業に取り組んでいる福祉事業所の好事例や失敗例を抽出し、横展開すべきである。 ・実績のある福祉事業者や農業者等と、これから農業に取り組もうとしている事業者のマッチング支援、ネットワークづくりの支援も継続して取組まれたい。 ・障害者の身体面や精神面にプラスであることを、よりアピールすれば新規に農業へ参入する福祉事業所が増えるのではないかと。
---------------------	--

改善結果	
・農福連携の好事例を横展開し、県内農福連携の取組の拡大を図るため、動画を作成し、WEBで公開するとともに、動画を活用したコストを意識したセミナーを実施する。 ・専門家派遣については、農業経営を主とした知識やノウハウを有する専門家を派遣し、工賃向上を目指す。	